



日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.3.8 No.3752

自衛隊の力添えが2次出兵阻止 吹雪の中で奮闘する北海道の仲間へ

今、立ち上がらなければ!

昨年十月十三日「国際貢献」の美名のもと、カンボジアに派兵された自衛隊は「平和維持」どころか内戦の泥沼に拍車をかける要因となっており、カンボジアの民衆にとっては侵略者・植民地総督府として憎しみのマトとなっている。一日も早い撤兵を待ちとすることは日本の我々の責務となっている。こうした中で、二月十四日北海道現地闘争が闘われ現地仲間は権力や革マルの妨害・敵対をはねのけ、第二次派兵阻止の突破口を切りひらいている。

世界は今年一月冒頭からのアメリカによるイラク再爆撃の強行に見られるように恐るべき世界戦争の方向へと動きだした。

こうした情勢の中で日本政府支配階級は九一年湾岸戦争以降、戦争体制づくりにより全力を投入しPKO強行成立、十・一三派兵にまで行きつき今「改憲」徴兵制にまで手を染めている。

今ここで、立ちあがらなければ！戦争の歯車が勢いづく前に侵略反対・改憲阻止の声を、運動をつくりだそう、今年はその正念場である。

「創憲」などと改憲につながることを言い出した社会党、PKO派兵に労働者を引きつり込もうと政府と一体となっている連合等、こうした時代の逆流・制動を打ち破って立ちあがらなければならない。

労働者・人民の中に、政府支配階級の腐敗と戦争政治に心底怒っているのだ。その先頭で闘う党、組織を求めているとあって間違ではない。

こうした情勢をしっかりと見据え、春季反戦・侵略反対の闘いに立ち上がろう。日夜吹雪の中で派兵阻止を闘っている北海道現地の仲間に応え、三四月北海道闘争に決起しよう。

国鉄闘争と反戦闘争を結合し、九三年の勝利をたたかおう。

北富士現地集会開催される!

2月27日、富士山のふもと、松丸尾において、北富士忍草母の会の主催で、現地総決起集会が開催された。集会は、5年毎の「北富士演習場使用協定」とこれと一体をなす「北富士演習場内国土地入会地の使用に関する協定」の改訂期を4月に控え、緊迫する状況のなか150名の結集で行なわれた。

PKO派兵の状況下で政府は、北富士演習場の永久使用を狙っている。北富士闘争と第2次出兵阻止闘争を結合し闘おう!



(二セの入会協定粉砕!)

2・15 第2波公判判決 闘争に結集しよう!

全カ!